明治廿九年二月五日印刷
明治廿九年二月七日發行

婦人衛生雜誌

第七十五號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌 第七拾五號 目次

講演

◉生理學講義（第五回） 醫學博士 坪井次郎君

◉北里博士の血清療法演説

◉盲啞失官の原因

衛生叢談

◉齒科醫と入齒齒拔營業

◉齒牙の解剖及發生期

◉磨齒粉

◉齒石及血石

◉實布垤里亞治療成績

◉虎列剌病流行の統計

◉黴毒傳染の媒介

◉水中殺菌法

◉歐洲人の食量

◉人間生死の差

◉ボストンの禁煙令

◉日清洋風習の比較

◉牛疫の發生附牛乳牛肉

◉導引法

◉肺病統計

◉大日本婦人衛生會々况

大日本婦人衛生雜誌 第七拾四號 目次

講演

◉若き婦人の精神病 醫學博士 榊俶君

◉北里博士血清療法演説（前號の續）

衛生叢談

◉燐創と曹達液

◉齒の養生

◉痰中の結核

◉衛生と雞卵

◉癩病

◉流行性感冒

◉刀圭社會の現况

◉大日本婦人衛生會々况

◉廣告

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第七拾五號

（明治二十九年二月七日發行）

講演

生理解剖學講義

（十二月七日於華族會館婦人衛生會納會）

第五回　醫學博士　坪井次郎君　演説

私は此前の會より消化器の御話を致して居ります、食物が先づ口腔に入り、齒の爲めに咀嚼せられ唾液と混和して、嚥下作用に因ッて咽喉を下だり、胃管を通ッて遂に胃の中に入り、胃液の爲めに消化せられて、胃の壁より吸收せらるゝと云ふ事を御話を致しましたが、今日は胃中の食物が腸に入る作用を申上げます。

胃に續き恰も蛇が蟠ッた樣な形狀にあッて非常に長い管が有る、是れが即ち小腸で、其先きの廣い管を大腸と申します。此前に御話をしました如く、食物が胃の中に凡そ二時間這入ッて居る中に漸々消化されまして、而して一部は胃より吸收されます。他の消化せられざる部分は自然と幽門とて胃と腸との間にある絞れた部分が開いて腸の中に出て來る。腸の方に食物が這入ッて來まするると、其處にも夫々消化液が出でます、其液に二通り有ります、即ち膵液と膽汁との二ッで有ります。此二種の液が腸の中に注いで、食物の消化を助くるので有ります。膵液と云ふものは腸の横の方に廣がッて居る膵臟から分泌して、腸の初めの部分に注ぎ、食物と混和して之を消化するので有ります。此液は前回に御話をしました唾液と同じ樣な作用で、矢張り澱粉質を變化して砂糖にする作用

を持ッて居る、ソレのみならず鷄卵の蛋白質及び脂肪を溶解消化するの力を持ッて居りますので大切のもので有ります。ソレから膽汁は矢張腸の初めの部に注ぐので、黄色の苦い液です、是れも同じく食物消化を幇助し、主に脂肪を消化する作用を持ッて居る、ソレから又食物が腸の中に於て腐敗するのを、此膽汁の作用に因ッて防ぐので有ります。膽汁は肝臓から分泌して腸に注ぐ併ながら直接に腸に注ぐのでなくして、肝臓より一先づ膽嚢と云ふ嚢の中に集り、膽嚢より腸管に注ぐので有ります。俗間に膽と稱するものは膽嚢中の膽汁を指すものであります、熊膽、猿の膽など丶云ふのも、皆是れで有ります。御承知の通り鳥或は魚などにも、此膽嚢と云ふものがありますので、料理する時に膽嚢を傷けないやうにせねばなりません、膽汁は苦味の液で有りますから、過ッて之を傷けるときは、肉までも苦くなッて仕舞ふ。偖此膽汁と膵液の作用に依り食物が溶解され、長い腸管を通ッて往く間に腸の周圍に在る脈管の中に滋養分を吸收され、而して身體を養ふので御座います。ソレであるから主に食物の消化れる處は、胃と小腸であります。大腸の方に來ると、吸收の作用は終ッて仕舞ッて、唯不要の部分を體外に排泄するのみで有ります。

腸の解剖を述べますると、腸の壁と云ふものは決して平たいものでない。其内面は恰も山と谷との如くになッて居る、是れは即ち腸の面を斷りたるもの、(圖に就て示さる)此中に脈管が通ふて居ッて、消化されたる食物が之に觸れると、吸收されて其中に這入ッて往く。殊に腸の壁には多くの

分泌線が有ります、而して此線より胃液に類した腸液を分泌して食物を消化すやうになッて居るので御座います。

消化器の生理を總括して見ますると、我々は日々牛乳ソップの如き物のみを食べるのみならず、固まッた物即ち米、肉、野菜等を食べて居るので有りますが、是等の食物は知らず識らず消化器に於て色々に變化して充分に溶解た上で、始めて胃或は腸の中で脈管の内に吸收され血液の中に這入ッて身体を養ひ、消化させるものは体外に排泄せらるゝやうになッて居るのであります、消化器の作用は別に六ケ敷い事では有りませぬ。

實際に於て特に緊要の件は我々が食べる食物と飲物との性質を知ッて、好きを擇び、惡るいものを避けるやうにしなければならぬ事であります、ソレで有りますから我々の日常食べて居るもの或は飲む物はドウ云ふものを擇ばなければならないか、又平常良い物でも時として衛生上害になる事があるから、其區別をする事を知ッて居らなければならない。是れは普通の生理學上最も大切の事で有ります、ソレ故此事は少し悉しく御話をしなければなりません

先づ食物の中で何が一番必要かと云ふに乳汁であリませうソレ故食物の御話をするに方り第一に乳汁の御話をしやうと思ひます、乳汁と申すものは、人或は動物の乳線と云ふ分泌腺から分泌せらるゝものにて白色の液で有ります。而して其中には砂糖を含んで居りまするから、甘い味を持ッて居る、人乳の外、動物の乳も種々有りますが、一般に乳と申せば大抵牛乳を指しますから、私も主

に牛乳の御話をするつもりで御座います。

牛乳と云ふものは、食物の中で餘程貴いものであります、何故なれば小兒を乳ばかりで育てゝ往く事が出來るではありませんが大人と雖も亦乳に慣れて居る以上は、乳ばかりで生活して、充分にからだの營養を取ッて往く事が出來ます。勿論其譯で有ります、乳の中には我々のからだの營養になるものは總て含んで居る、即ち鹽類、脂肪、砂糖、蛋白質等を含有して居ッて一として闕けて居らぬ、而も單に含んで居るのみならず、丁度我々の身体に要するだけの量を、適宜の割合に含んで居ります、同じ滋養に富みたる食物でも、脂肪が多過ぎるとか、塩氣が多いと云ふのでは、適當の食物とは云へないが、前に申す通り、牛乳は適宜の量に滋養を含んで居りますから、最良全の食物で有ります。ソレであるから小兒は勿論大人でも、牛乳ばかりで身体を養ふことか出來るので有ります。

牛乳を顯微鏡に掛けて見ますると小なる球が澤山見へます、之を名けて牛乳の脂肪球と申します。序に御話を致しますが、母乳も顯微鏡に掛けて看ると此通り見えます、併なから母乳にも良いのと惡るいのと有る、ソレを鑑別するのが大切の事であります、良い母乳には、脂肪球が澤山に見えますが惡しき乳には脂肪球が少なく且つ球に大小の差が見えます。

牛乳中に脂肪球が有ると云ふことを知るには、玻璃四筒中に牛乳を入れて置きまするど、自然と牛乳中の脂肪即ち脂肪球が上部に浮んで往きサウして上の方の部分に黄色の皮が出來ます一見して下部と上部とを區別する事が出來ます。其皮を名け

て乳皮と云ひます、之は牛酪を製する基を爲すもので有ります。又牛乳を温かい室に長く置きますると、丁度豆腐のやうに凝結ッて仕舞ひます是れは牛乳が一種の醱酵を起すので有ります。

日本に於きましても段々と牛乳を用ゐる事が殖ゑつゝ有りまして病人ばかりでなく、小兒の營養、大人も養生の爲めに用ひる者が多くなりました。然る上は牛乳と云ふものは、食物の中で缺くべからざるもので有りますから、成るべく良い牛乳を用ひる樣にしなければならない。迂濶に惡るい牛乳を飲む樣な事が有りますると、大なる害を身體に及ぼすことが有りますから、餘程注意をしなければならない。尙ほ牛乳に就て注意を要する理由と云ふものは、凡そ飲食物の中で、牛乳程贋造の多いものはない、牛乳に種々の贋造をして我々の眼をくらますものが有りますから、從ッて深く注意をしなければならない。其我々を瞞着する手段はドウ云ふ處に有るかと云ふに、第一に水を加へ、或は米の淅汁を注ぎ或は曹達水を混ずるとか或は上に浮んで居る脂肪を取ッて牛酪を製し、脂肪の無くなッて仕舞つた牛乳を無斷で販賣するとか、或は病牛の乳を搾つて鬻ぐとか、種々の惡策を廻らして利を貪ッて居るものが澤山に在る。日本にある外國種の牛には往々人間の肺病と等しき病が有るので、甚だ危險である、若し知らずしてサウ云ふ牛から搾り取つた乳を飲みますると、肺病に罹る恐れが有ります、ソレであるから此點には餘程注意をしなければならぬ。皆樣が日々乳を御用ひになるに就ても、良い牛の乳で有るか、或は惡るい牛の乳で有るか解りませぬ故、豫め是

れは惡るい牛から搾ッた乳であるかも知れぬと云ふ位の御覺悟を以て御用ひになるのが肝要である即ち牛乳を召上がるときは必ず一度沸騰させて冷して飲むと云ふことを御忘れになッては往けない。一度沸騰しますれば、假令其中に病毒が在ッても、皆死んで仕舞うから決して害にはなりませぬ、ゆめ〳〵生の牛乳を召上がッてはなりませぬ。牛乳の正否を試驗する方法はいくらも有りますが、今牛乳に水を增してあるか否や及び牛乳中の脂肪が適宜に在るか否かと云ふ事を知る試驗をして御覽に入れます。

元來牛乳と云ふものは、一定の比重を持ッて居るもので有りますから、眞の牛乳か若くは水を增したものであるとか云ふことは、比重計に因ッて判別することが出來るは牛乳は水より重いもので有る、ソレで有るから牛乳に水を混ずると輕くなる、水を增すに順じて益々重量を減じて參ります。牛乳比重計は玻璃製のものにして、細き管に度目を記し、底部には水銀を盛つて有ります（圖に就て說明せらる）、是れを牛乳の中に入れては何位ゐ沈むか、度目を見まして二九乃至三四位ゐなれば、是れは混合物の無い牛乳と云ッて宜い。若しも二十九乃至二十六位なれば、是れは十分の一だけ水を增たものと、云ふ事が解ります。併しなから尙は一層狡猾に、一旦脂肪を拔いて仕舞うと、却ッて元の牛乳より比重の高くなッた牛乳に水を適當の工合に混和すると、其比重と云ふものは、元の牛乳と同じ比重になッて來るので有ります。ソレを撿査するには、先づ第一に此牛乳の中に何程の脂肪が這入ッて居るかと云ふことを調べるので

有ります。ソレには牛乳中の脂肪量を驗する器械が有ります、是れはフエーゼル氏の器械と申して一の玻璃の圓筒でありまして其内部に一の曇り硝子色なる棒がありまして之に黑い線が横に引てあります、此器械の中へ四立方センチメーテルの牛乳を入れますと黑線は見えませぬ。ソコで通常の水を段々加へますると、遂に黑線が見はれて來る此黑線の見へるまでに費やした水の量よりして脂肪量を直ちに知る樣に圓筒の壁に度目が盛てあります●凡そ牛乳の透明ならざるは、脂肪球が有る故であります。ソレゆゑに水を加へれば脂肪球が稀薄となり遂に黑線も見ゆるやうになるのでございます。故に良い牛乳は餘計水を増さなければ黑線は現れない之に反し既に水の増してある牛乳なれば、少しの水を加へたのみで黑線が見える、成るべく水を澤山増してから、黑線の見える牛乳ならば良いものと認めらるゝので御座います。尚は牛乳脂肪球の御目に懸けたいと存じて、顯微鏡に掛けて置きましたから御覽を願ひます。

●北里博士の血清療法の報告演説（前號の續）

それから血清を注射して癒ッた處の患者の病歷病症日誌などが茲にありますが、之を一々讀んでは長くなりますから、是は報告書の出ました時分に緩くり御覽下さい。

それからもう少しお話する事があります。其發病した時と血清療法をやる時に、即ち時間の此關係と云ふものが、是は大變必要の事であります。なぜならば如何に妙法があつても、例へば血清療法

があつた時にも、もし既に殆ど死に掛つて居る病人を。捕まへて再び回復させると云ふ事は、是は中々望むべからざる話であります。さうであるから血清療法をやるには固より病の初期に施せば必ず効の著しいと云ふ事は、是は分り切つた話であります。廣尾病院で實驗した事がある。其實驗と云ふものはどう云ふ實驗かならば不幸にして廣尾病院では看護婦と看病人が虎列刺に罹つたものが九人ありました。九人の中に非常に激烈に罹ッた處のものが二三人あッて。併し悉く皆助かッた殊に或付添に來て居つた處の三十才になる男と云ふものは、非常に激症であつた。其人の妻が虎列刺に罹つて入院して、子供が一人同じく虎列刺に罹つて入院して、さうして両方の看護をして居つた時に三日目になッたれば、一、二回下痢を始めた併し初めはそれを隱して居ッた。其日の夕方にあッたれば、幾度となく下痢をしたから、自分も驚いて醫者に其事を告げて治療をして貰つたが、其治療をし初めの時には餘所から擔いで來た病人あらばもう迚も見込がないと云ふ總ての惡い症狀を現はして居ッた、尿も止ッて仕舞ッて、四肢も厥冷して仕舞ッて、腓腸筋に痙攣があるし總て虎列刺の重い症狀を具へて居ッた。其病歷を委しく讀むと面倒でありますから、報告書が出た時分に能く御覧下さい。それで三四時間で直ぐに治療を始めたからして此重い患者ですが之を助ける事が出來た。其外色々例がありますから後とで緩ッくり御覧下さい。

それから患者の發病した時から入院して、治療に着手した時間と死亡の關係と云ふ事も、是も大變

必要の事であります。それはなぜ必要かならば今お話申た譯じやからそれで調べて見ました。發病後……是は併し確に當にならぬ。是は付添人などに聞いたのであるから。大凡の事は今日發病してから八時間以內のものが十二人ある。是は一人も死んで居らない。八時間以上十二時間以內のものが十八人ありました。此中で四人死んで居る。十二時間以上二十四時間以內のものが五十三人、此中十七人死んで居ります。二十四時間以上四十八時間以內のものが六十三人、此中二十五人死んで居る。四十八時間以上七十二時間以內のものが三十一人、此中十二人死んで居る。それから七十二時間以上の入院患者が十二人あッて。此中五人死にました。之を百分の死亡比例を取ッて見ると段々〳〵と殖えて居る。時間の遲く這入ッただけ死亡比例が惡くなッて居りますが、七十二時間以上のものは十二人の中五人死んだのは、是は割合に死亡比例が少し少いが、是は或は輕かッたのか、それだけ虎列剌の持堪へが出來れば、是迄でも助ける事が出來ますから、此人々は虎列剌の感受力が少かッたか何だか分りませぬ。けれども其外と云ふものは時間でズット死亡比例が殖えて來て居る。それで今お話するやうに八時間以內に這入ッたものは皆な悉く助ッて居るのであります。之を以て見ても成るたけ早く這入ッたものは宜いに違ひない。それから此の血清療法を施しても遂に効がなくして少しも血清の効き目を及ぼさずして死んだものは、二十一人、それから血清療法を施して一時快くなッたが復た惡くなッて死んだものが二人あります。それから所謂虎列剌――タイホイド

に罹ッて死んだ者が三十一人あります。是は私等の別け方が違ッて居りますから其お積りで……是は人に依て別け方が違ふ。虎列剌タイホイドと云ふものは、總て虎列剌の後に發する處の總てのものをタイホイドとして居ります。又或る人は本當の窒扶斯狀を爲すものを虎列剌タイホイドと言ッて居ります。それで通例の人の言ふ處の虎列剌タイホイドなるもの、即ち熱性を發した處の虎列剌タイホイドが四人ある。則ち尿毒素を發した處の虎列剌タイホイドが三十八人、局所虎列剌タイホイドが五人、虎列剌の症狀が輕快しましたれども營養不良の爲に脚氣などに罹ッて死んだものが二人あります。一人〳〵の病歷は他日委しい報告を致しますから、其時御覽下さい

それから血清を用ひる法と云ふものはどうするかならば、先刻お話申すやうに血清を取りまして、羊、馬其他の動物から血を取て一晝夜靜にして置くと血清が浮びて來ます、其の浮いた血清をすぐに取ッて半プロセントの石炭酸を混ぜるそれはなぜならば此量の石炭酸を混ぜると多くはバクテリアは殺されて仕舞ふ。然し血清其物に對しては何も血清の働を弱くするやうな事はない。若し誤ッて血清の中に外の腐敗バクテリアが這入ッても、此分量の石炭酸が、這入ッて居りまして、それを殺して仕舞ッて居りますから極く都合が宜い。人の身躰に這入ッても石炭酸の爲に害を爲す事はない。而して先刻お話申した通り成るたけ皮膚の餘計に持上る處へ持ッて往て注す。廣尾病院で注射した數と云ふものは千回以上注射して居りますが、併し注射をして一度も化膿を起すと云ふ

やうな事はなく又丹毒を起したと云ふものもありませぬ。さう云ふ不幸な目に出ッくわしたことはない。それを以て見ても吾々か注意に注意を加へてやてッて居と云ふ事が分る。それで一回の注射量は十瓦を注射する。其中石炭酸水一瓦を引きますからして本當の血清が九瓦、病氣の輕いものは十八瓦の血清を注射して宜しい。今の血清の免疫の度では其量にて宜しそれからひどい重い患者にあると三十瓦、乃至六十瓦も注した事がある。死に瀕して居る急の場合には、一時間の中に四五回も注したと云ッて一向差支ない。今度使ふた處の血清の量と云ふものは九キログラムだけの血清を使ッた。廣尾病院では血清療法を主としてやりましたから、外の治療法と云ふものは一向實驗はしなかッた。例へば甘汞療法とか又は食鹽の注射法とか云ふ事はやらなかッた唯興奮劑を與へて見た。ブランデー赤酒と云ふ興奮劑はやッて見ましたが、外には一向他の治療法はやらなかッた。

マ一ッ玆に必要なことは歐羅巴の學者の言ふのには、二歳以下の子供と云ふものは、眞正の虎列剌に罹るものでないと云ふことを言ッて居る。獨乙の虎列剌取締規則を讀んで見ると、總ての吐瀉病は屆けねばならぬと布告して置いて、併しながら二歳以下の子供の吐瀉病は是は取除けて宜いと言ッて居る。虎列剌の流行る時分には、吐瀉病は悉く屆出でなければならぬけれども、二歳以下の子供は取除けて宜いと云ふ。なぜかならば今迄二歳以下の子供は虎列剌に罹らないと云ふやうな一般の說である。處が今度廣尾病院で實驗して見ますると中々さう云ふ譯ではない。或は他の病院でも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯う云ふ實驗が一緒に寄りますれば大變面白い成績が出來やうと思ひます。今迄と丸で反對の成績があるから、決して二歲以下の子供の吐瀉だと云ッて油斷があるものではない。それは廣尾病院に二歲以下の子供で入院したものが四人あッた。其中三人は大便の中に虎列剌バチルスが確に居つた。處が此三人と云ふものはどうして感染したかと云ふと、三人が三人とも皆んな母親が虎列剌に罹ッて居ッた。現に或る子供の如きは虎列剌に罹ッて居る母親の乳を吸ッて居ッたと云ふ事があッた。兎に角親に虎列剌が發して床に就くまでと云ふものは、始終皆母親に付て居ッたけれども固より乳の中に虎列剌の黴菌が這入ッて居ッて、是より感染する事がある筈はござりませぬ。けれども始終虎列剌患者に接して置いて則ち排泄物にくッ付て居るから知らず識らず口の中にコンマバチルスが這入ッて感じたに違ひない。それじやから決して感じないと云ふ事は言はれない。併し歐羅巴人の言ふ虎列剌に感じないと云ふ事は、感じないのではないであらうと思ひます。二歲以下の子供では感ずる場合が少いからと云ふのであらう。何の爲に二歲以下の子供を取除けたかと云ふ事は分らない。分らないのみならず取除けらるゝものではない。それから一人の子供は先刻話申したやうは二百七十一人の中一人の取除けと云ふ其一人の子供は、是は度々撿査して見ても虎列剌の黴菌か見えぬから是は本當の虎列剌ではない。此病歷も書いてございますが之も省きます。それから姙婦が隨分割合に多く來た姙婦の十六人の中流產したものが三人ありました。胎兒は固より死んで仕

舞ッた。
それから年齢と死亡の關係、死亡數と云ふものは二十歲以下のものに少なく二十歲以上のものに多い。それは或は心臟の抗抵力が弱いとか強いとか云ふ事からか知らぬ。けれども實際さうなッて居る。
これが今度實驗した處の大略であります。で之を一緒に集めて見れば斯う云ふ結果が來る、第一に血清療法と云ふものは、虎列刺に對して充分効力のある成績を持て居ると言ッて間違がない。それから第二血清療法は、虎列刺の患者に向ッて何にも危險の事もなく、或は危害を及ぼす事一切なし、それから血清療法は虎列刺病の初期に施す時には、病氣の輕重に拘はらず特有の効を奏すると云ふ事も分ッて來た。それから血清療法を除いては虎列刺に對して未だ他の療法の善きものを今日迄見出さぬと言ッて間違ひない。
それから健康の身體に血清を注射して置いて、虎列刺を豫防する事が出來るかどうかと云ふ事は、是は實驗して居りませぬから今日申す事は出來ませぬが、他日改めて精確なる實驗をした上で申ます。斯う云ふ譯でござりますから虎列刺の患者に血清療法を施すと云ふ事は、どうか一般に行渡ッて使用するやうになりたいと思ひます。併し先刻申すやうに避病院に送ッてから之を治療すると云ふ事は、既に時機が後れて居りますから、虎列刺病に最も早く接する處の醫者、之をもの一ッ言へば開業醫と云ふものは、始終虎列刺の血清を持ッて居ッて怪しい處の病氣で……先づ虎列刺の黴菌の撿索などは後にして宜いから、病狀が虎列刺ら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しいと思はゞ血清療法をやるが宜い。なぜかならば血清療法をやッて益があるとも決して害のある事はありませぬからして、さう云ふやうにしてやッて時機を後れぬやうにしてやれば、此成績と云ふものがまだズッと好くあッて來て、死亡比例が善くあるに疑ひない、其證據に實扶的里治療成績を見ても分る。此成績は獨乙で研究をやッたのが丁度三萬四千五十人にやッたので、其成績を百分比例を取ッて見ますると、百人に付て死亡したのは九、幾らと云ふより死んで居らない。獨乙の此實扶的里血清療法をベイリングの調べたのに依れば各病院でやッた績成が百人に付て十四、六と云ふものになる。處が開業醫のやッた所の成績はズットト好くなッて七九と云ふものにあッて殆ど半數になッて居る、それは血清に善惡はなくして或は注意……注意は病院の方が矢張注意してやッたに違ひない。それに拘はらず。開業醫の方が好かッたと云ふ事は是はどう云ふ譯かならば、開業醫と云ふものは病人に接する時機が速いから、時機を後れず血清療法をやる事が出來るから成績が大變好い、虎列剌の事も同しやうに往くと云ふ事は是は間違ない、それから年齡別けとか何とか其他ゴタ〳〵書いて來て居りますけれども、それは後日報告の出ました時に一々御覽下さるやうに願ひます大變に長い演說をしましたから御退屈でござりましたらう

●盲啞失官の原因　盲啞學校寄送

今失官原因を調査するに盲生失官の最も多きは遺傳黴毒所謂胎毒にして三十七名中九名啞生失官の

最も多きは生來にして六十六名中二十八名全數三分の一を超え次は急性腦膜炎所謂驚風にして六十六名中九名あり、失官年齡を撿するに盲生は一年二年三年各五名あり、乃至二十歲に一名あれども啞生は生來を除きては二年に最も多く六十六名中十一名の多きあり之に次ぐは一年三年にして各九名あり而して八年に止まれり、兩生の差違此の如く而して兩生共に一年より三年の間に多し、幼兒保育の責に任ずる者深く注意せざる可らず

又啞生生來二十八名中九名は從兄弟結婚者の擧ぐる所一名は叔姪の產一名は再從兄弟の產三名は遠緣の產あり、生理學者近緣の結婚を戒むるは聾啞盲癲白痴の類多くは近緣結婚者の產に係るを以てあり、一顧の價無しと云ふ可らず、今最慘狀を呈したるもの二三を擧げて世人の參考に供せんとす、世人結婚に際し肺結核癲狂白痴盲聾等遺傳の有無を糺すこと切なり而して本校啞生六十六名中一名は祖父一名は祖父の弟に一名は父の祖父に聾者あるのみ、直接の遺傳は六十六名中僅に三名にして从兄弟再從兄弟等の產十四名あり

本邦僻在の地に於ては從兄弟の結婚を以て好偶とし相慶する風あり豈謬まれるも甚しきものに非ずや

又茲に一の注意すべきあり、前記の如く啞生は生來多く盲生には僅に一人に止まると同時に啞生は中等以上の資產家子弟に多くして盲生は概して中等以下に多し、是れ本校在學生に就きてのみの立言なれば正鵠を得たるものと云ふ可らずと雖啞生に生來者多くして生來者中近緣結婚者子弟多しとするときは結婚の關係必ず少小ならずと思ふに中等以上の資產家配偶を撰ぶには必ず家格資產等略均等なるを求めざる可らず然るに均等者多からざるは數に於て見易き事とす、是に於て止むを得ず相知れる近緣者と結婚するに至るは其主なる原因にして媒酌を煩はさず家格を保ち血統を重んずる國風亦其副因たるに非るか

然れども獨り家格血統の重んずべきを知りて却て子孫の强壯を圖らざるは國家の爲に深く憂へざる可らず、盲生の中等以下資産家子弟に多きは生計の不如意より保育の方法宜を得ず採光保温の方衛生に適はず營養の素を缺く等必ず其主因ならん殊に海邊及北國には著しく多し是れ海邊は砂熱の反射若くは砂粒の飛入等によるもの多かるべしと雖亦漁獵者の子弟捕獲殺傷不潔の手指を以て眼目を摩擦する如きも其一因たるものに非るか、北國雪地に於ては冬季採光保温宜きを得ざる矮屋に蟄居し爐を圍み薪を燻し又は炬燵を擁し忽ち門外皚々たる白雪の反對を受け或は之に反し白雪の反射を辭して忽ち陰暗の矮屋に入る等皆衛生に適せざるも因襲の久しき遂に風を成し容易に改むる能はざるに因るか、是れ全く臆測に過ぎずして衛生家の討究を煩はし海邊等地に居住する者に注意を促さんことを切望す

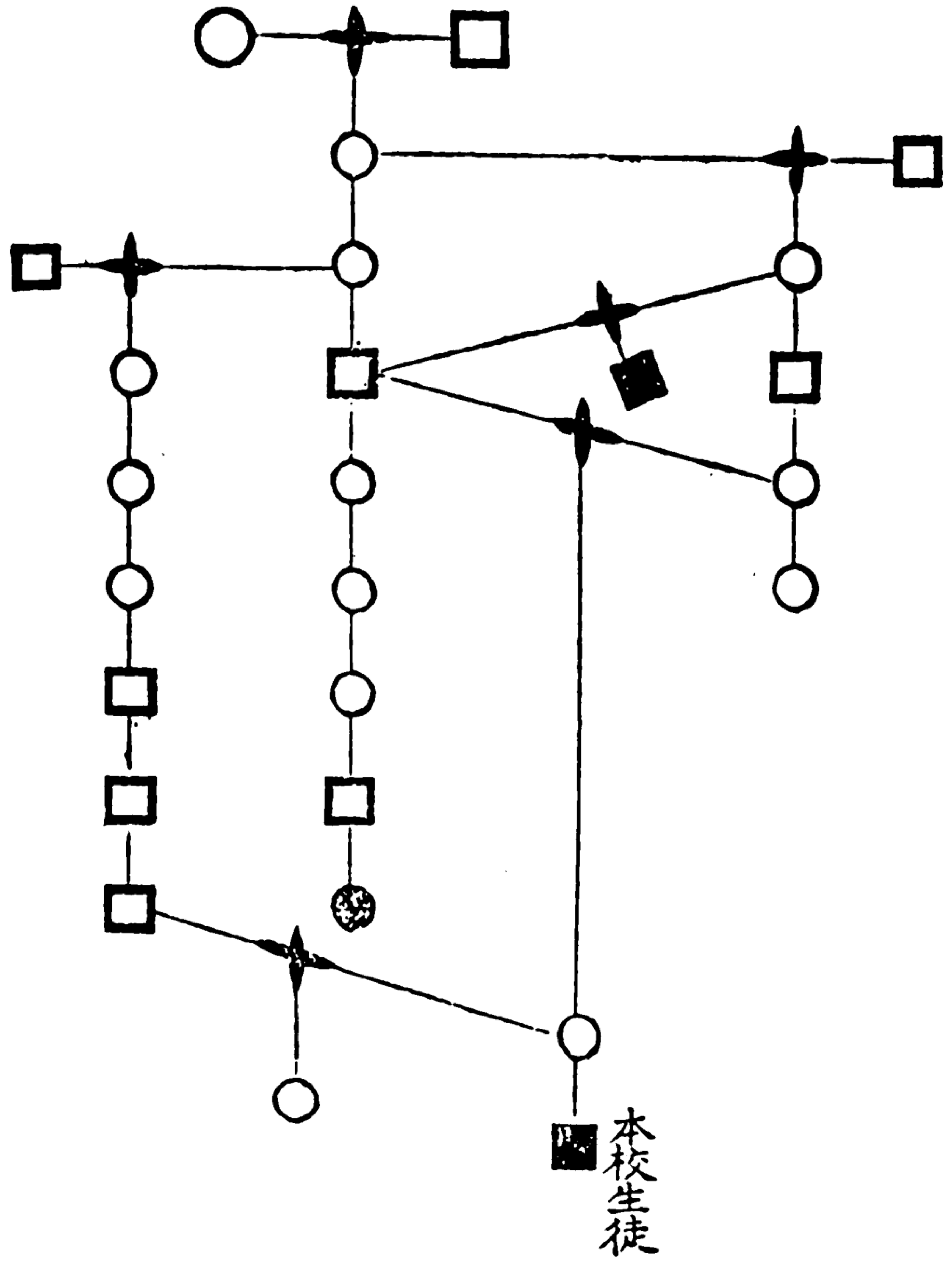
今盲唖失官の原因を表に作れは左の如し

符解

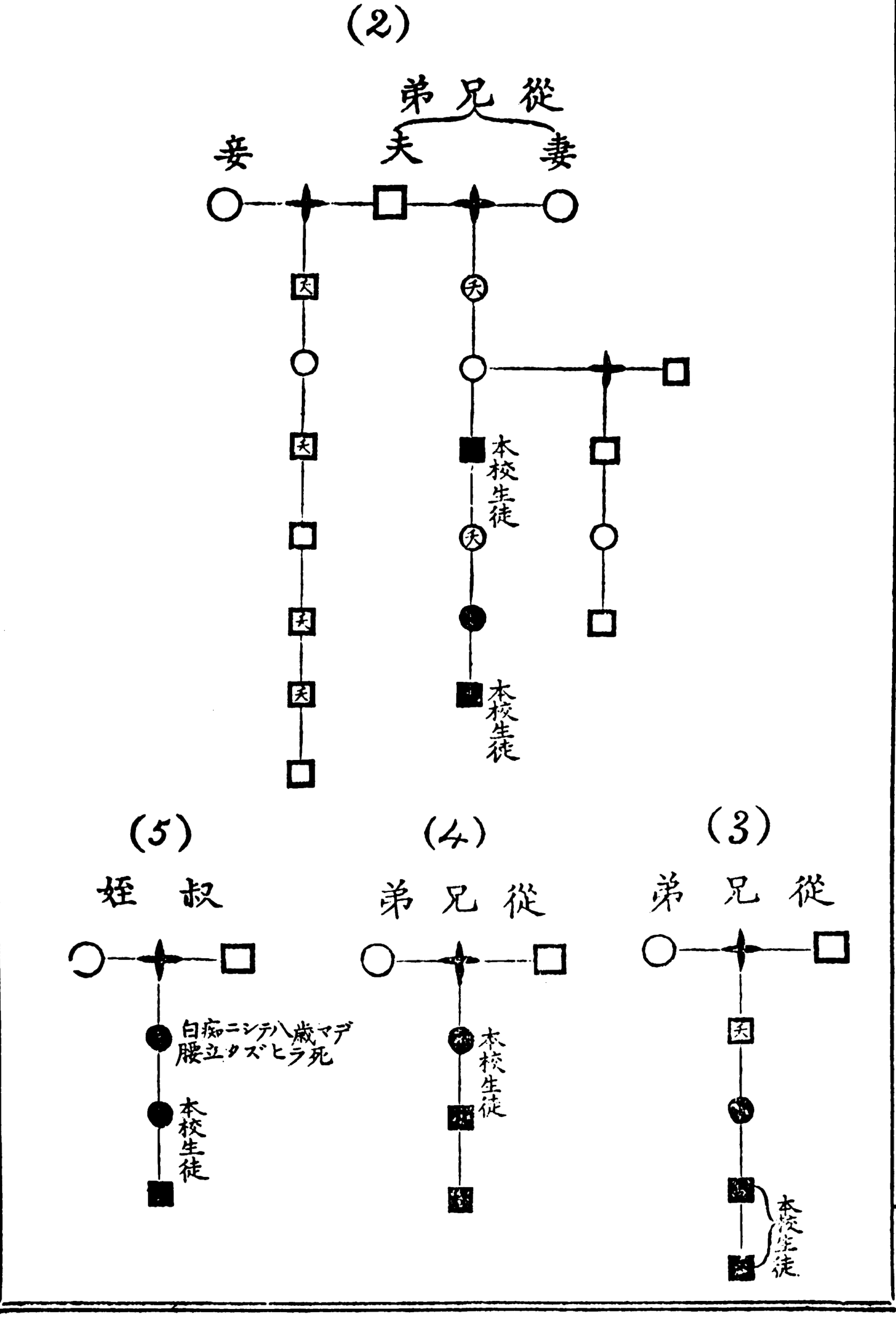
＋結婚　□男　○女　■男唖　●女唖

(1)

從兄弟



盲啞失官の原因



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十八年 盲生失官原因表 三月末日

原因／年齢	生来	遺傳黴毒(胎毒)	化膿結膜炎(風眼)	神経知覚過敏癩	網膜炎	衰弱	内障眼(ソコヒ)	腹及腹膜結核(脾疳)	角膜炎	外傷(怪我)	痘瘡	眼瞼炎症(タダレ?)	近眼		不詳	合計
生来	一															一
一		三	一		一											五
二		一	一	二											一	五
三							一	一	一		一	一				五
四		一														一
五		一						一		一						三
六		二	一	一												四
七			一							一					一	三
八																
九							一									一
十																
十一		一	一													二
十二																
十三																
十四						一			一				一		一	四
十五																
十六						一										一
十七																
二十?					一											一
不詳															一	一
合計	一	九	五	三	二	二	二	二	二	二	一	一	一		四	三七

東京盲啞學校

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十八年 唖生失官原因表 日

原因＼年齢	生来	急性脳膜炎（急驚風）	脳病	打脳	咽喉ヂフテリヤ（馬脾風）	外耳炎（耳ダレ）	神経知覚過敏	頭部湿疹（頭瘡）	熱性病	赤痢	百日咳	慢性脳水腫（慢驚風）			不詳	合計
生来	六															六
一		二	一	一		二	一	一			一					九
二		二	二	三	一				一			一			一	二
三		四			一										四	九
四		一					一									二
五										一						一
六																
七																
八			二													二
九																
十																
十一																
十二																
十三																
十四																
十五																
十六																
十七																
十八																
不詳					一										三	四
合計	六	九	五	四	三	二	二	一	一	一	一	一			八	六六

東京盲唖學校

衛生叢談

●齒科醫と入齒齒拔營業

齒科醫とは內外科醫と同じく官府の試驗に及第したる學術ある醫師なれども入齒々拔營業者の如きは只一個鑑札の爲めに一時其業を繼續せるに過ぎす然るに二者の間斯の如き差違あるに拘はらず該營業者にして往々齒科醫と類似せる標札を揭げ無責任の治術不德義の行爲をなすあるも一に皆齒醫師の責任に歸するは實に遺憾なりとて齒醫師同業者は今回此弊害を矯正し世人の幸福を增進せんため齒科醫會なる一團体を組織し其會員は門標に磁石の標札(齒科醫會々員)を揭出して之れか證となすといふ此會起りてより世人は幾何の幸益を受くるや知るへきなり

●齒牙の解剖及發生期

此編は齒科醫會の編輯せしものにして大日本私立衛生會に於て附錄として發行せしものなり今同會に乞ひ轉載するものなり

齒牙保護法を說くに先ち讀者は齒牙解剖の大略を知悉せさるべからず依て左に之を述へん

齒牙に二種類あり一を乳齒と云ひ一を永久齒と云ふ乳齒は小兒の齒牙にして永久齒發生の期に至れは脫落して之と交換す乳齒は其數上下各十枚にして永久齒は其數上下各十六枚とす第一圖は上顎永久齒の骨中に並植せる狀態を示す(一)は中央前齒(二)は側前齒(三)は犬齒(俗に糸切齒と云ふ)(四)は第一小臼齒(五)は第二小臼齒(六)は第一大臼齒(七)は第二大臼齒(八)は第三大臼齒即ち智齒(俗に親知らずと云ふ)なり第二

圖は乳齒右側半部の形狀を示す即ち中央前齒、側前齒、犬齒及第一第二臼齒とす第三圖は上顎前齒を縦斷せるもの第四圖は同大臼齒を縦斷せるものにして(ロ)は齒牙の大部を構成する象牙質(イ)は齒の冠部を被包する琺瑯質（外面に露出せる硝子樣の部分）(ハ)は根部を被包する白堊質(ニ)は齒髓腔にして齒牙生活時は神經、血管の集合物たる齒髓と稱する軟組織を以て充實せらる　（圖面略す）

乳齒の發生は小兒生後六ヶ月より二ヶ年半にして完結す下齒は通常上齒に先ち左右兩側の同名齒は其時日を同ふするものとす其發生順序は左の如し

中央前齒　五ヶ月より八ヶ月　　側前齒　七ヶ月より十ヶ月
犬齒　十八ヶ月より二十ヶ月　　第一臼齒　十二ヶ月より十五ヶ月
第二臼齒　二十ヶ月より三十ヶ月

然れとも是れ其概略を示すのみ多少の差異なき能はす而して乳齒發生の際は屢々小兒に不穩の症狀を呈し齒齦は浮腫又は硬結して疼痛を發し及痙攣搐搦等其他全身諸症を起すことあるを以て齒科醫並に普通醫家の診を乞ひ適應の處置を施さずんば生命の危險を招くこと往々之れあり

永久齒牙發生の順序は左の如し

第一大臼齒　滿五歳より六歳
中央前齒　六歳より八歳
側前齒　七歳より九歳
第一小臼齒　九歳より十歳
第二小臼齒　十歳より十二歳
犬齒　十一歳より十三歳
第二大臼齒　十二歳より十四歳
智齒　十七歳より二十一歳

乳齒と永久齒の交換時の注意に就ては後章に之を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

詳述すへし

◉磨齒粉

磨齒粉は齒牙保護上缺く可からさるの要具なり而して其撰擇や亦缺く可からさるの要務なり蓋し本邦古來用ひし所の磨齒粉は其質多くは粗惡にして齒質を害する甚し其原料の如き寒水石、房州砂或は牡蠣粉等の砂石類に芳香藥及色料を調和せしに過きす故に其害たる初め琺瑯質を磨削し次て象牙質に及ひ齒面は為めに粗糙にして滑澤の質を失ひ反て汚物を附着し易からしむ且つ其知覺銳敏なる所の象牙質の露出は冷熱甘酸の飲食物刺戟に由りて劇しき感覺を發起す所謂齒牙消耗症なるものにして本邦人の此症多き實に歐米人の比に非す粗製磨齒粉之か一大原因たること疑を容れす終には齒髓為めに死壞疼痛するに至り其粉末は齒齦と齒根の間に殘留し齦肉に膿汁を釀し口内益々不潔に陷り齒槽炎起（齒牙を並植する所の骨堤）は吸收せられ齒牙挺出して脫落する者あり然るに世人多くは磨齒粉は齒を研磨して白色と為し外相を粧ふものと誤想す衛生の主旨に戻ると謂ふへし抑も磨齒粉を用ゆるの本意たる食物の渣滓、粘液の汚垢を除き齒及齒石（俗に齒鹽と云ふ）を生せさらしめ琺瑯質をして緻密滑澤ならしめんか為めなり故に口内に入るれは唾液に混して溶解し毫も齒質を害することなく又能く食片の酸化を防き粘液の汚着を去り寄生物を撲滅し齒牙及齒齦を健全ならしむるの藥品を撰用すへし粗製磨齒粉は此本意を失ふのみならす反て大害を釀すに至る寧ろ齒刷に清水を浸し用ゆるの優れるに若かす磨齒粉の撰擇は殊に注意を要する所以のもの之か為めなり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉齒石及血石

齒石は齒根に沈着する所の一種の土類質にして口內唾液か溫度の爲めに其水分を蒸散し土質沈澱して成形せらるゝものなり猶ほ水を煎る鐵瓶の底に白堊を附着するか如し之を分析すれは燐酸石灰、炭酸石灰、脂肪、食物渣滓等より成る其色茶褐或は黃、綠、灰白なるあり其質も亦硬固あるあり柔軟なるあり而して齒石の附着し易き部は唾管唾液分泌腺なり開口の近傍即ち上顎臼齒の外面及下顎前齒の內面とす其他咀嚼物の磨擦を受けさる部に於て亦然りとす

血石とは齒根と齒槽との間に沈着せる石灰分の一種にして血液中より分解し來りて沈澱する所のものにして其質硬固にして暗黑若しくは暗綠色をなし齒齦緣下の齒根に固着するを以て目擊する能はす

（未　完）

◉實布垤里亞治療成蹟

北里博士の傳染病研究所に於ける明治廿七年十一月十三日より仝廿九年一月十三日に至る實布垤里亞患者血清治療總數は四百三十九名死亡者總數四十一名にして百名に對する死亡比例九、三%なりといふ

◉虎列刺病流行の統計

本邦に於る虎列刺病流行の起源を尋ぬるに始めて流行を來たせしは其年月未だ詳ならすして既に元錄十二年に江戶に此病流行ありしと云ふも敢て確かなる記錄の徵するに足るものなく其後確かに「コレラ」と認定せしは文政五年にして夫れより安政五乃至萬延元年の流行之に次ぎ第三は明治十年十一年、十二年第四は十四、十五の兩年とす第五は

同十八、十九年間第六は同二十三年の流行にして昨年は第七期流行年と云ふべきなり今其統計を擧れは左の如しといふ

	患者	死亡
第一期三年間合計	一七七、七三五五	一一四、〇八八
第二期二年間	六一、〇二〇	四〇、〇二一
第三期二年間	一六九、六九五	一一七、七一九
第四期一年間	四五、四六一	三三、八七四
第五期仝	五六、五七九	三九、九七五

但第七期は昨年初發より十二月十八日に至る統計とす

◉黴毒傳染の媒介

黴毒傳染の媒介に就ては既に醫家社會に定説あることあるか某軍醫は其原因を左の如く列擧せられたるが傳染の恐らく媒介物は此外に出でさるべし

甲　直接便宜原因
第一　交接
第二　接吻
第三　種痘
第四　醫士、産婆　病体解剖家の指
第五　雞姦

乙　間接便宜原因
第一　醫療器械
第二　器物
第三　患者の陰腟
第四　乳母の乳房
第五　圊

◉水中殺菌法

流行病の行はるゝ土地に於て他に淸浄なる水の欠乏せる時止むを得ず使用する井水を無害となすの

目的を以つて消毒藥の注加によりて此希望を達す可き試驗を擧行せり即ち石灰の一分を消毒せんとする水の千分に加ふることは有効にして賞用す可きものなりと云ふ石灰を水中に混じたる後反復之を攪拌する時は有害なる混合物は石灰と共に沈澱し或は死滅して器底に沈降すアグラ——（印度に於ける水は石灰を加へざる以前にありては一立方仙迷中三萬個の菌芽を含みしも石灰を混せし後一時間にして四百個に減し三十時間の後には僅に四十八個に減したり然れども全然無菌なる水は一回の石灰混合によりて得らる可きものに非ず虎列拉菌を含有する十四の井戸中十個は石灰の混合によりて凡ての虎列刺菌を撲殺し得たり其他の四個は非常に不良なる場所の關係を有し隨時近傍より虎列刺菌侵入したるが故に充分なる成績を得る能はざりしと云ふ

◉歐洲人の食量

人民の生計は國によりて其程度を異にする事なるが今或る統計學者の説によれば英國人の食費は平均一人に付一ヶ年に四十八弗佛蘭西人は四十七弗獨乙人は四十二弗西班牙人は卅三弗伊太利人は二十四弗露西亞人は廿三弗を要し又英國人一人一ヶ年に用る所の肉の量は一百〇九磅佛蘭西人は八十七磅獨乙人は六拾四磅伊太利亞人は貳拾六磅露西亞人は五十一磅を要し麵麭は英國人三百八十磅佛蘭西人五百四十磅獨乙人五百六十磅西班牙人は四百八十磅伊太利亞人は四百磅露西亞人は六百三十五磅を費やすといふ

◉人間生死の差

或學者の調査に依れば現今世界に棲息する所の人

數は十四億萬人に上り其中年々死亡する所二千五百二十一萬四千人即ち一日に九萬六千四百八十人、一時間に四千二十人一分間に六十七人、一秒時間に一人一分一厘餘の死亡者あり又之と反對にて年々生るゝ所を精算すれば三千六百七十九萬二千人にして一日に十萬八百人一時間に四千二百人一分間に七十人、一秒間に一人一分六厘餘の產聲を聽くべき勘定となるなり故に一分間生死の差は三人にして、生者の死者より多きと一日に千四百四十人なりと

●ボストンの禁煙令

ボストン大學にては大に喫烟の弊害あるを認め學生に喫烟を嚴禁し犯すものは退校を命ずるの規則を設けしといふ本邦にても少年子弟の喫烟するものの日に益々多きを加ふるに至り甚だしきに至りては女學生すら之を以て消過の具となさんとするものあるは實に嘆ずべきなり有名なる佛國の某醫は九才乃至十五才にて喫烟に耽る兒童に就て研究せしに廿二人は「ニコチン」中毒の徵候を顯はし二十二人は甚だしき血液の不循環食物の不消化智力の遲鈍飲酒渴望の特性等に著しく他の三人は心臟病に罹り八人は血液惡しく十二人は屢々鼻孔に出血し十人は安眠を妨げられ四人は口內膿腫せるを認めたりと云されば少年子弟の謹むべきは喫煙にてあるなり

●日清洋風習の比較

日清洋の風習に就ては千態万狀一にして足らずと云へども衛生上の一點に於て比較するに於ては各々長短の差異あれども家屋飲食等の點に付ては日本は兩國に異なる處甚だ多し但し支那の如きは

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬事不潔にして衛生の何たるを知らざる者なれども又自然的衛生に適ひ居る生活を爲し居るも又一奇と云ふべし今左に其比較を掲げて參考の資に供せんとす

支那	西洋	日本
肉食の料理多し	仝上	米食
煉瓦石造の家屋	仝上	木造家屋
筒袖の衣服	仝上	廣袖
食卓により立食	仝上	膳にて坐食
帽を冠り靴を着く	仝上	古へ帽無下駄
寢臺と暖室爐	仝上	蒲團に火鉢
生肉を食はず	仝上	生物を食す
身体長大	仝上	短小
足を細くす	腹を細くす	自然に任す
皮膚を隱す	仝上	皮膚を現はす
室内に便器あり	仝上	なし
沐浴すること稀なり	仝上	常に沐浴す
箸を用ふ	異	箸を用ふ
大小便垂れ流し	異	異
不潔	清潔	清潔

●牛疫の發生附牛乳牛肉

今回の牛疫は九州四國長崎山口香川其他の諸縣を始め近きは神奈川千葉横濱を始め諸處に牛疫を發生し今や府下に侵入するに至りたるを以て當局者も警視廳令第五號を以て嚴重に豫防線を張り其區域内は牛羊豚の出入往來を停止せられたり抑々牛疫の感染力は實に迅にして其病毒は又猛烈なるものなれとも人類には決して感染せざるものにして假令へ牛疫の牛乳若くは牛肉を食することあるも大害はなきものなり且又牛疫感染したるときは病

機亢進の爲め隨て乳汁の分泌することあるを以て急に牛乳の飲用を止め牛肉を食はさるにも及ばぬこと去れども牛疫流行時と否とに拘はらず牛乳は一旦必ず煮沸したるものを用ゐ肉は能く熟煮したるものを用ゐるを要す但し牛の肺結核炭疽熱等の如きは牛疫と異なりて身体に感染すること猛烈なれば平素に於て充分の注意することそ緊要なりとす今牛乳よりして猩紅熱の傳播せし一例を擧けんに倫敦市のホーンシー區に於ては舊臘十數日間に二百卅三人の猩紅熱患者を發生したるが其初めは二日にして一人の屆出あり四日には五人五日には十六人六七八日には各十四人九日には十七人十一日には五十八人の多數に達したり此邊はホツトン町より牛乳を需むる處なるか同町には曾て昨年猩紅熱の流行ありしを以て或は其牛乳の原因たらんを疑ひ十一日斷然同町より牛乳を輸入するを禁じたるに次の三日間には實に七十三人の屆出ありしも十五日には僅に九人の新患者を生じたるのみにて日ならず流行の跡を絕ちしといふサレば是等の熱病は牛乳より感染するものなれば宜敷注意緊要なりとす

◉導引法

人の健康を保持するは飲食にありと云へども運動不充分なるときは忽ち腸胃を害し圖らざる病患を牽き起す者そかし故に天氣清朗の日戸外運動を試むは衛生上欠くべからさるとなから寒天風冷かなるときは導引を以て之に代ふるも又血液の循環をよくするの功あり養生訓に曰く導引の法は保養中の一法なり人の心は常に靜なるべく身は常に動かすべし終日安座すれば病生じ安し久く立ち久しく

行より久しく臥し久しく座するは何れも皆人に害あり

導引の法を毎日行へば氣をめぐらし食物を消化して積聚を生せず朝いまだ起きざる時兩足をのべ濁氣を吐き出しおきて坐し頭を仰て兩手足をくみ向へ張り出し上に向ふべし左右の手にて項をかはる〳〵おす其次に兩肩をあげくびを縮め目をふさぎて俄かに肩を下へさぐること三度次に面を兩手にて度々なで下し目を目がしらより目じりに屢々なで鼻を兩手の中指にて六七度なで耳輪を兩手の兩指にて挾みなで下す事六七度兩手の中指を兩耳に入れしばし閉さぎて兩へひらき兩手をくみ左へ引くときは頭を右をかへりみ右へ引くときは左へかへりみる如斯する事各三度次に手の背にて左右の腰の上を十餘度なで下し次に兩手を以て腰を按す兩手の掌にて腰の上下をしば〳〵なで下す是れ食氣をめぐらし氣を下す次に手を以て髀の上を柔らかに打つ事十餘度次に股膝を撫で下し兩手をくんで三里の邊をかゝへ足を先へふみ出し左右の手を前へ引左右の足ともに斯の如くする事しば〳〵すべし次に左右の手を以て左右の脛の表裏をなで下す事數度次に足のうら次に片足の五指を片手にてにぎり足のうらを左手にて右をなで右手にて左をなづると各數十度又兩足の大指をよく引殘る指をもひねる是術者のする導引術なり閑暇あるひとは日々朝夕かくの如くすれば氣下り氣めぐり足の痛みを治す甚だ益あり遠方へ歩行せんとするとき又は歩行して後足のうらを右の如く按すべしと是れ以て体操運動に代へ得べき便方なるべし

◉肺病統計

肺病は歐州各國に於ても最も多く尤も根治し難き病ひとして人々の嫌忌する處にして其傳染するや種々の原因に基くといへとも牛乳の良否により爲めて感染するもの少からすといふ歐米の牝牛は体軀も肥大にして乳汁の分泌も又多きを以て一般に歐米種飼養すといへとも歐米の乳牛は多く肺結核に罹るもの多く近來牛乳の需用の盛なると共に肺病患者の數も亦從て増加するの傾きあり之れ畢竟く乳汁の良否に關係すること大なりといふ注意すべきことゝなり然るに日本種の乳牛は歐米種に比しては躰軀肥大ならず乳汁の分泌も又少しといへども肺結核に罹るもの少く且其價格も廉なれば宜しく日本種の乳牛に歐米種の健全なるものを交尾せしめて雜種の乳牛を作るときは其結果頗る良好なりといふ故に牛乳飲用者は牛乳の良否を鑑別すると煮沸して用ゐるとは實に衞生上欠くべからさるものなり而して我國肺病の最も多き地方は第一を東京とし次は大坂、神奈川、福井、三重、北海道等にして最も少きは沖繩、岩手、宮城、宮崎、秋田、山形等なりとす今左表により全國肺病患者の統計を一覽すれば年一年何に肺病患者の増加するを知るへきあり

明治十九年	三万六千百卅八人
仝二十年	三万六千三百六十七人
仝二十一年	三万九千六百八十七人
仝二十二年	四万二千四百五十三人
仝二十三年	四万六千〇二十五人
仝二十四年	五万四千五百〇五人
仝二十五年	五万七千二百九十二人
仝二十六年	五万八千七百十九人

◉大日本婦人衛生會景況

一月十二日第二土曜日午後一時より麹町永田町華族會館に於て本會初會を開く會する者五十餘名醫學士岡田和一郎君には征清軍に關する衛生談あり次に醫學博士坪井次郎君には生理解剖の講義をなし休憩後は例年の通り福引の餘興あり各歡を盡し散會せしは四時半頃なりき

廣告

去一月より二月に至る入會轉居左の如し

◉會長仁禮すが子の紹介により

麻布區三軒家町二十二番地
通常會員　橋本嘉代子

麻布區北新門前町三番地
通常會員　鳥越ゑい子

◉事務所へ申込により

麹町區隼町二十四番地松山方
通常會員　今村いと子

本所區松代町一丁目十六番地
通常會員　太田恒子

本所區柳島町廿六番地
通常會員　鈴木喜代子

◉會員藤本まさ子の紹介により

第一病院
杉山房子

◉通常會員三井晴子の紹介により

神田區北神保町七番地
通常會員　三井曉子

◉通常會員根岸かな子の紹介により

小田原萬年町四丁目
通常會員　長田てう子

下谷池之端仲町第町二丁目四番地根岸かな子方

通常會員　青木すゝ子

●會員駿河仲子の紹介により
京橋西紺屋町八番地山本里子方
通常會員　伊東榮子

●會員中野悦子の紹介により
新潟市旭町通一番町
通常會員　紫藤のふ子
同所
通常會員　渡邊すが子

●會員牧野英子の紹介により
麹町區有樂町三丁目二番地
通常會員　猪間のへ子

●會員和田垣つな子の紹介により
麹町富士見町五丁目二十番地
通常會員　小倉すゑ子

轉居

南豊島郡大久保中百人町二百二十一番地へ
八代操子

北豊嶋郡中新井村杉山方へ
布施正顯

京橋區木挽町四丁目九番地へ　柳川きく
麹町區五番町十二番地へ　進とし子
奈良縣赤十字社支部內へ　山田久子
岐阜市橋詰百五十九番邸へ　田代たけ子
牛込北山伏町四十番地へ　板倉藤子
越中富山市星井町九十七番地へ　森琴子
本郷西片町十番地にノ三十一號　南あか子
青山南町六丁目百四十七番地へ　內山訓子
四谷左門町四十番地へ　星野茂尾子
廣嶋縣和庄町二百八十六番地へ　湯地照子
小石川久堅町七十四番地へ　宮本敦子
牛込袋町廿五番地へ　小野芳子
相州横須賀佐野六百二十番地へ　清水ふき子
下谷區池之端仲町八番地へ　衣笠行子
青山南町六丁目十五番地へ　永沼貞子
赤坂永川町三番地へ　津田たま子
日本橋住吉町二十二番地へ　大森八重子
麻布新網町一丁目二十七番地へ　森その子

大日本婦人衛生會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本會への新年賀狀

恭賀新年
明治二十九年一月一日　伯爵夫人　松平充子

謹賀新年
明治二十九年一月一日　麹町三番町　岡村靜枝子

恭賀新禧
併て會員の萬歳を祈る
明治二十九年一月一日　麹町區永田町二丁目六十九番地　淺井梅香子

謹賀新正
明治二十九年一月一日　賛成員　飯盛挺造君

新年の御慶目出度申納候
明治二十九年一月一日　東京市麹町區有樂町三丁目一番地　平田よし子

恭賀新年
明治二十九年一月一日　赤坂區一ッ木町八十一番地　羽田三緒子

謹賀新正
明治二十九年一月元旦　日本橋區浪花町五番地　中村秀子　後藤豐子

謹みて新年を賀しまゐらす
明治二十九年一月一日　京都上京區寺町廣小路上る　村岡ひさの子

新まる年立けふの御ことほき
目出度申納り〱
明治二十九年正月元旦　相州東浦賀町大ヶ谷七十番地　田尻知子

謹賀新年
明治二十九年初月一日　筑前鞍手郡勝野炭坑　安達芳子

恭賀新年
明治二十九年一月一日　甲斐國石和驛　鹿兒島嘉久子

新年を賀し奉る
明治二十九年一月四日　新潟市上旭町一番地　中野ゑつ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

かしこまりて
改年の壽まをすになん

明治二十九年正月四日　本所龜澤町二丁目三番地　中村たけ子

謹賀新年

明治二十九年一月五日　麻布市兵衛町二丁目　松平芳子

新年之御壽御祝ひ申納候

明治二十九年一月七日　麻布本村町　南部隈子

新年の御壽き何方も同じ
御事と御目出度申納候

明治二十九年一月七日　朝鮮京城漢城病院　瀬脇みえ子

璞玉の年のはしめの御壽ことよのふ
芽出度御こととまをもあなかしこ

明治二十九年一月十二日　大坂西成郡野田村　岡田美壽子

二十年あまり九とせ
てふ年のむつきのけふ

謹奉賀頌新禧

明治廿九年一月十二日　賛成員　中村順一君

明治廿九年一月五日印刷
明治廿九年一月七日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中德三郎
印刷者　同　神田區小柳町十三番地　小高良造
印刷所　同　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可　第一金曜日發行　（定價金拾錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN